

3 震災津波伝承施設として考慮すべき事項

(1) 施設設計

- **更新性の高い展示施設**
新しい研究成果や最新の復興情報などを随時展示に反映できるように更新性の高い展示システムの導入を検討する。
- **運営に優しい施設**
メンテナンスのしやすさやランニングコストの低減対策を考慮した、運営に負荷をかけない施設づくりを検討する。
- **人に優しい施設**
お年寄り、子ども、障がいを持つ人々、外国人など、全ての人々にとって利用しやすい施設づくりを検討する。

(2) 事業展開

- **防災教育普及・交流事業の推進**
ワークショップ・学習会、語り部活動、フィールドツアー、交流イベントなど、県民協働による防災教育普及・交流事業の推進を検討する。
- **調査研究における連携**
津波災害に関する調査研究機関、復興に関する調査研究機関などとの連携を検討する。
- **アーカイブの活用**
「岩手県震災アーカイブ（仮称）」の有効活用の推進を検討する。

(3) 他施設等との連携

- **公園内の施設間の連携等**
本施設と一体整備される高田松原津波復興祈念公園、国営追悼・祈念施設（仮称）、重点道の駅高田松原などの関連施設と有機的に連携を図るとともに、震災遺構等を、震災津波を物語る実物展示として活用する。

【高田松原津波復興祈念公園内の震災遺構等】



写真 4 枚の出典：国土交通省 HP

- **三陸沿岸市町村、その他関係団体との役割分担と連携**
各市町村の伝承施設と連携した企画展示や協働イベントなどの開催、三陸全体の観光活性化を目指す取組などの推進を検討する。

※本資料の写真について、出典の記載のないものは東北地方整備局「震災伝承館」HPより使用

震災津波伝承施設に関する最新情報

- 岩手県ホームページ「高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会」
(<http://www.pref.iwate.jp/anzen/machizukuri/38466/index.html>)
岩手県復興局 まちづくり再生課 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1 / 電話番号：019-629-6935 ファクス番号：019-629-6944
- 国土交通省 東北地方整備局ホームページ「岩手県における復興祈念公園」
(http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b06111/kenseibup/memorial_park/iwate/)

平成〇〇年〇月

陸前高田市高田松原地区に整備される『高田松原津波復興祈念公園』は、「東日本大震災津波の被災の実情と教訓の伝承」、「復興への力強い意志と力の発信」、「三陸地域に育まれた津波防災文化の継承」等を基本方針とし、復興の象徴として整備を進めています。震災津波伝承施設は、この基本方針に基づき、同公園内において具体的に東日本大震災津波の実情と教訓を伝承するための施設として整備するものであり、本計画は、震災津波伝承施設の整備をすすめる上で踏まえるべき、展示の基本的な考え方や方向性をまとめたものです。



上空から見た公園予定地（平成 27 年 3 月 岩手県撮影）

1 展示の基本的な考え方

■ 震災津波伝承施設の使命

東日本大震災津波及び過去の津波災害の悲劇を再び繰り返さないために
その事実と教訓を伝承するとともに、
災害を乗り越え、復興に向けて力強く歩いていく姿を世界に向けて発信

■ 展示のテーマ（展示を通じ、問いかけるもの）

（仮）私たちは、将来の大震災・大津波から命を守るために何をすべきか？

■ 展示の基本方針

東日本大震災津波の事実を 浮き彫りにする展示

多面的な震災津波災害の事実をありのままに描き出す。

- 津波の事実
- 被害の事実
- 避難生活の事実
- 復興の事実 等



東日本大震災津波の実経験からの 教訓を伝える展示

同様の悲劇を繰り返さないために、東日本大震災津波という未曾有の災害の実経験から得た教訓を伝える。

- 「逃げる」教訓
- 「助ける」教訓
- 「支援する」教訓
- 「復興」の教訓 等



津波災害への対応の歴史を 学ぶ展示

人々や社会は、津波災害にどう向き合い、どう備えてきたのか。その実態や歴史などを通して、悲劇を繰り返さないために何をすべきかを考える場を創出する。



紙しばい つなみ 作：田畑ヨシ

■ 震災津波伝承施設の整備方針

東日本大震災津波の事実と教訓を世界そして未来へと伝承し、
復興に立ち上がる姿と感謝を伝える展示とするとともに、
三陸沿岸地域へのゲートウェイ機能を有する施設として整備する
また、屋外の震災遺構等を震災による被害を如実に物語る実物展示として活用する

2 展示を具体化するに当たっての方向性

■ 展示構成と各ゾーンの考え方

ゾーン1. 導入展示

震災前の故郷の姿・暮らしの風景

失われた風景を訪ねる
三陸の暮らし・自然を考える

・震災津波によって失われてしまった故郷の歴史・文化・暮らしの風景を紹介するとともに、繰り返し襲来した津波を乗り越え、自然との共生の中で育まれてきた営みと、そこにしっかりと生きてきた三陸の人々の姿を感じてもらおう。

私たちのテーマ

・展示観覧に先立ち、「私たちは、将来の大震災・大津波から命を守るために何ができるのか？」という問いかけを明確に伝える。



写真出典：Yahoo! JAPAN 東日本大震災写真保存プロジェクト

ゾーン2. 事実を知る

その時何が起こったのか

東日本大震災津波とは（ガイダンス）

・三陸地域を襲った東日本大震災津波の全体像、被害の実相等をありのままに分かりやすく伝える。

被災者から見た震災津波の事実

・大津波の脅威、避難時の状況、被災によって失われたものの大きさ、生活再建にあたり新たに抱え込むことになった様々な問題など、被災の深刻な実態を被災者の目線から、時間軸に沿ってつづさに辿る。



ゾーン3. 教訓を学ぶ

人びとはどのように行動したのか

行動の事実から教訓を学ぶ

・東日本大震災津波の経験から得た教訓（逃げる・助ける・支える等）を具体的に伝える。

被災地ドキュメント

・未曾有の災害を目の当たりにし、多様な主体が各所で立ち上がり行動を開始した。その全体像を時間軸に沿って概観する。

防災文化を考える

・これまでの津波災害の歴史や、先人たちによって育まれてきた防災文化を学ぶとともに、津波に向き合う自然観を捉えなおす。



ゾーン4. 復興を共に進める

復興への意志、願い、足跡、絆づくり

行政の進める復興事業

・国や県が進めている復興事業（ハード、ソフト）を分かりやすく解説する。

復興に立ち上がる

～多様な主体による取組～

・なりわいの再生・コミュニティ再生・次世代育成など、地域再生に取り組む多様な主体とその取組を紹介する。

支援への感謝

・全国・世界からのあたたかい支援を紹介し、感謝の気持ちを伝える。



ゾーン5. 地域と交流する

三陸沿岸地域へと誘う

フィールドへ誘う

・本施設が立地する「高田松原津波復興祈念公園」のフィールドへ誘うための情報提供を行う。

陸前高田市街地へ誘う

・地元陸前高田市の市街地へと誘うための情報提供を行う。

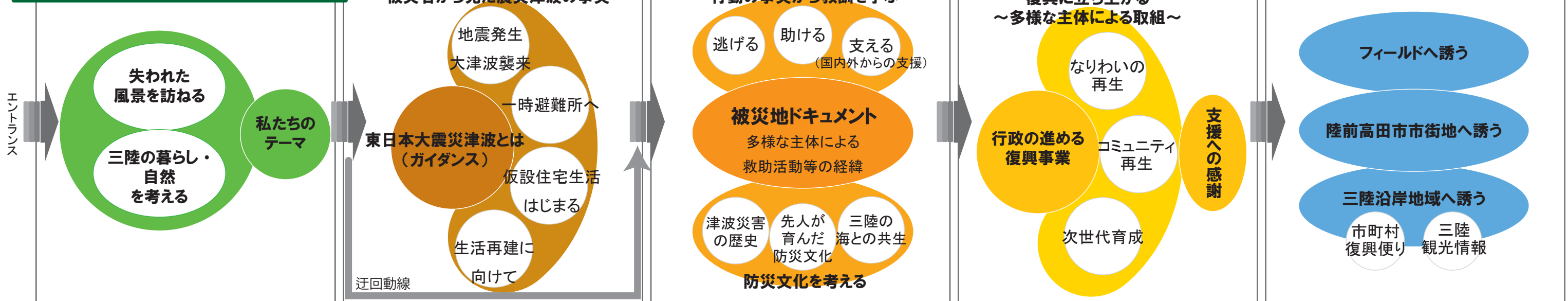
三陸沿岸地域へ誘う

・三陸沿岸各市町村の震災伝承施設、震災遺構をはじめ、ジオパーク等の観光情報を発信するとともに、まちづくりの取組や現在の復興状況等を発信する。



写真出典：岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」

■ 展示ストーリーと展示イメージ（概念図）



※上記常設展示のほか、企画展示に使用できる空間を設けるものとする。